



学校での「もしも」の事態に備えて ～鹿児島水産高校にAEDを設置

心肺停止の疾患に電気ショックを与えて救命に役立てる自動体外式細動器（AED）が、鹿児島水産高校に設置され、関係者への講習会が2月23日に行われました。

講習会には教諭など50名が参加し、枕崎消防署の救急救命士から人工呼吸、心臓マッサージなどの心肺蘇生法からAEDまでの手順を学びました。

このAEDを設置することにより、スポーツ活動等での不測の事態に素早い対処ができるようになるということで、今後、同校の実習船「薩摩青雲丸」にも設置される予定です。



ボランティアのこみ拾いでさわやかな汗 ～女性グループが火之神公園を清掃

まくらざきハーモニーネットワーク委員会（上釜いほ会長）による火之神公園一帯の清掃ボランティアが、3月11日に行われました。

おだやかな春の陽気のもと約60名の参加者が集まり、空き缶やペットボトルなど軽トラック3台分のゴミを拾い、また、約40本のあじさいの追肥作業を行いました。

この取り組みは、同委員会が「きれいなまちづくり」の一環として、きれいな公園で多くの観光客を歓迎しようと始められ、今回で5回目の作業となります。

カツオのしっぽで枕崎を卒業 ～枕崎小学校教諭の送別会

枕崎小PTAの主催による、転任や退任される先生方をカツオの尻尾（しっぽ）料理で送り出す恒例の送別会が、今年も市内のホテルで行われました。

今回転任される11名の先生方は、赴任される時のカツオのピンタ（頭）料理から始まり、枕崎のいろんな味をくまなく堪能した証として、カツオのしっぽ料理を食べ、枕崎を卒業していきました。

県立大島養護学校に転任される萩原千絵教諭は、「子どもたちが笑顔いっぱい、元気をもらいました。地域にも大切にしてもらいありがとうございました。カツオのまちらしく、給食に出た腹皮がおいしくて印象深かったです」と話していました。



カツオ・黒豚で優勝まちがいなし ～福岡工業大学野球部が今年もキャンプ

福岡工業大学野球部が、3月9日から5日間の日程で、市営球場でキャンプを行いました。

すっかり恒例となったキャンプも今年で11回目。激励を込めて、市から黒豚の肉10kg、市議会からカツオのフィレ10kgがそれぞれ贈られると、尾崎恭暢主将から「福岡6大学野球春季リーグ戦で優勝を目指し頑張ります」という力強い決意が述べられました。



それぞれのテーマを体いっぱい表現 ～第18回表現・ダンス発表会

表現・ダンス発表会が2月24日、市民会館で開催され、市内の小・中・高等学校から322名の児童生徒が出演し、創作ダンスやリズムダンスを発表しました。

各学校それぞれのテーマについて、体を思い切り使い、いきいきと表現しました。桜山中学校の生徒6名による「笑」（わらい）は、ダンスで笑いの愉快的様子や楽しい様子を表現。生徒たちのコミカルな動きに、会場から大きな笑いが送られました。また、プログラムの最後を飾った枕崎中学校の生徒21名による「絆」、家族・友人・社会との断ち切れない絆を見事に表現していました。



「あったらしか」が地球を救う ～金山小学校児童が街頭で省エネを訴える

金山小学校の児童23人や保護者などが2月27日、タイヨー枕崎店前で環境問題についての啓発活動を行いました。同校では、平成16年に太陽光発電施設を地域住民などと共同で設置し、これを契機に「エネルギー教育実践校」「省エネルギー教育推進モデル校」に指定され、総合的な学習の時間などで環境学習を行っています。

児童たちは、「ストップ地球温暖化！」と記した横断幕を掲げ、買い物客などに「省エネに取り組んでください」と呼びかけ、パンフレットを渡していました。また、3月3日には、鹿児島市の山形屋前でも行っています。



たすきをつないで防火を呼びかけ ～枕崎地区消防組合による防火リレー

枕崎地区消防組合（枕崎市、川辺町、知覧町、南さつま市坊津町）の職員がリレーで管内を走る、「防火リレー」が3月7日に行われました。これは、同組合職員の体力錬成と、春の火災予防運動実施期間中における火災予防の呼びかけを兼ねて行われたもので、南さつま市坊津町の高太郎運動公園をスタートし、たすきをつないで14区間、約61kmを走破しました。



いっぱい遊んで防火の意識学んだよ ～平成17年度消防フェスタ

枕崎地区消防組合による消防フェスタが3月17日、枕崎消防署で行われ、管内の幼稚園・保育園の4幼年消防クラブ員約140人が参加しました。これは、管内の火災予防の意識高揚と消防クラブ員の交流を目的として行われ、昨年に続き2回目の開催となります。

イベントでは、防火ポスターの表彰式や救助訓練披露のあと、消防問題についてのクイズやカード合わせゲーム、大声コンテストを行いました。

また、消防クラブ員全員によるはしご車との綱引きでは、保護者らも加わり大いに盛り上がりました。

子どもたちはイベントを通じて、楽しみながら防火の意識を学びました。